

# 福島町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

町内には集落間を運行する公共交通が存在しないことから、松前線廃止代替バスが運行している国道沿線以外は交通空白地となっている。また、当町の高齢化率は、令和6年1月1日時点で約51.7%と非常に高く、今後、少子化の影響により高齢化がさらに深刻化することが確実であり、今後ドア・ツー・ドア性の高い移動手段の確保が重要になると考える。

本事業は、地域間幹線系統である松前線廃止代替バスに接続する地域内フィーダー系統の運行により、町内の交通体系を確立することで公共交通の利便性向上を図り、もって利用促進を図るものである。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

| 指標           | 目標値     | 指標            | 目標値   |
|--------------|---------|---------------|-------|
| 延べ利用者数       | 2,950人  | 利用者満足度(満足の割合) | 80%   |
| 1便あたりの利用者数   | 2.16人/便 | 収支率           | 12.1% |
| 町民一人あたりの利用回数 | 0.90回/人 |               |       |

## 令和6年度事業概要

福島町デマンドバス:岩部線

運行方法: デマンド型運行

運行経路: 岩部地区 ~ 千軒地区を除く福島町全域 ~ 吉岡・美山地区

運行便数: 1日10便 ※土・日・祝及び年末年始(12/30~1/3)は運休

運賃: 1回300円、障がい者(※1)半額(150円)、2乗車目以降(※2)半額(150円)、小学生以下無料、妊婦等無料(※3)

※1: 身体障害者手帳保持者・療養手帳保持者・精神障害者手帳保持者 ※2: 同じ利用者が同一日に2回以上利用する場合

※3: 妊婦または、乳幼児の保護者が乳幼児と一体となって乗車し、母子手帳を提示する場合にあつては、運賃を無料とする。

支払方法: 現金又は回数券 ※回数券割引率: 16.7%(販売額: 1,500円、利用可能額: 1,800円)

予約: 第1便から第8便: 運行開始の1時間前まで それ以外の便: 当日の午後1時まで

## 地域公共交通の現況

- ・福島町デマンドバス(岩部線:1路線)
- ・函館バス(株)(木古内松前線:1路線)
- ・スクールバス ・タクシー事業者(1社)
- ・温泉優待バス(月約20回運行)

## 協議会開催状況

- ・令和5年度 第1回協議会 令和5年6月13日(火)
  - (1) 令和5年度福島町デマンドバス運行計画について
  - (2) 千軒地区におけるデマンドバス運行の検討について
- ・令和5年度 第2回協議会 令和6年1月15日(月)
  - (1) 福島町デマンドバス事業評価について
- ・令和6年度 第1回協議会 令和6年6月14日(金)
  - (1) 令和6年度予算(案)について
  - (2) 令和6年度福島町デマンドバス運行計画について
  - (3) 千軒地区デマンド型交通試験運行の継続について
- ・令和6年度 第2回協議会 令和7年1月10日(金)
  - (1) 福島町デマンドバス事業評価について

## 令和6年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

#### 【プロセス】

福島町地域公共交通活性化協議会では、令和5年4月1日付けで福島町地域公共交通計画を策定し、地域公共交通の維持に向け、利用促進の取り組みを行っている。

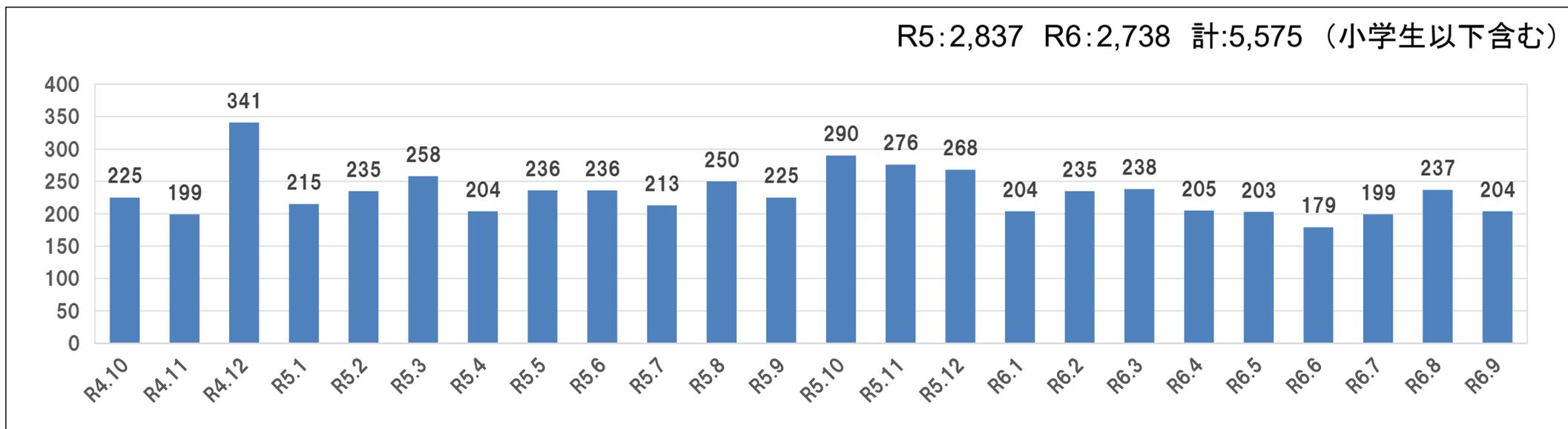
#### 【創意工夫】

- ・町民の集客が見込まれるイベントにおいて、福島町デマンドバスの利用方法や割引運賃等の料金体系の周知、車両への体験乗車を行う利用促進の取り組みを実施している。
- ・令和5年10月には、地域間幹線系統との接続及び通院等の利用者ニーズを確保しつつ、町内で唯一フィーダー系統の運行エリア外となっている千軒地区を対象としたデマンド型交通実証運行との接続を図っている。
- ・町内全戸を対象に、福島町デマンドバスの利用方法や利用促進に関する取り組みを掲載したニュースレターを発行している。

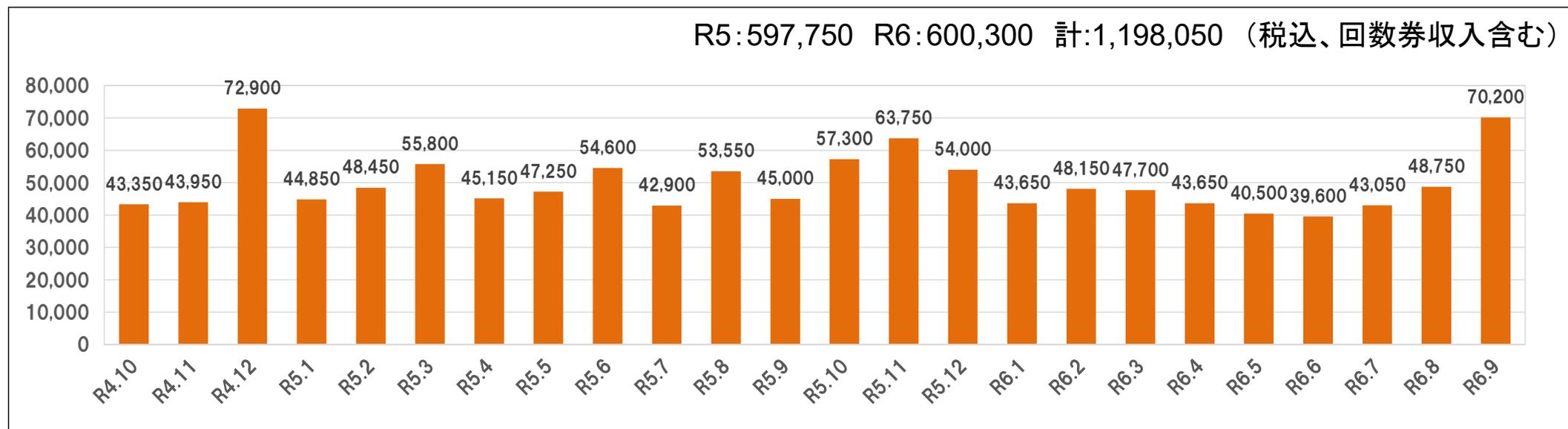
### 2) 運行系統



### 3) 利用実績



### 4) 収入実績



## 5) 事業実施の適切性

事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

延べ利用者数は、目標値である2,950人に対し、2,738人となり、目標を下回った。

※対前年比: 99人(3.5%)減

便平均利用者数は、目標値である2.16人/便に対し、1.99人/便となり、目標を下回った。

※対前年比: 0.11人/便(5.0%)減

町民一人あたりの利用回数は、目標値である0.90回/人に対し、0.79回/人となり、目標を下回った。

※対前年比: 0.005回/人(0.6%)減

利用者満足度は、目標値である「満足」の割合80%に対し、77.3%となり、目標を下回った。しかしながら、「やや満足」を含む肯定的な意見の割合は、95.5%となっている。

※対前年比: 6%増

収支率は、目標値である12.1%に対し、10.1%となり、目標を下回った。

※対前年比: 0.32%減

## 7) 事業の今後の改善点

令和2年10月1日より導入した往復割引運賃に加え、令和5年10月より新たに導入した妊婦等(妊婦及び乳幼児の保護者)無料など、現行の運行サービスに関する理解を深めていただけるよう、ニュースレター等を通じ、情報発信を継続する。

町内のイベントにおける利用促進は、デマンドバス車両だけでなく、路線バス車両に触れる機会を提供し、利用方法や料金体系等の周知につながった。

コロナ禍の影響は収束したものと考えられるが、本町の人口は減少傾向にあるため、利用者数は前年度からやや減少した。しかしながら、町民一人あたりの利用回数は増加傾向にあることから、引き続き、新規利用者の獲得を図るべく、移動目的の提案等を含めた利用促進の実施を検討する。

上記の施策に加え、運転免許返納支援やタクシーとの乗り継ぎ制度など、福島町地域公共交通計画に基づき、利用促進策を実施していく。

## 8) 地方運輸局等における二次評価結果

(令和7年度分と併せて評価)